



資産運用こぼれ話 投資と人生の成功は意識の拡大から

寄稿：岡本 和久

学校でのいじめ、親族殺人、テロ、大国の自国優先主義、振り返ってみるとこのような悲惨な出来事が増えています。その原因は煎じ詰めれば、多くの人たちが自分のこと、今のことしか考えなくなっていることに原因があるのではないのでしょうか。いじめについても相手のこと、そして、それがどんな結末を招くかを考えていない。自国中心主義もそれが世界全体にどのような影響を及ぼし、長期的にどのような結末を自らに招くかまで思いがいたっていない。多くのケースでみんな、「自分・今」という小さな箱の中に意識が閉じこもってしまっていることに原因があるように思います。

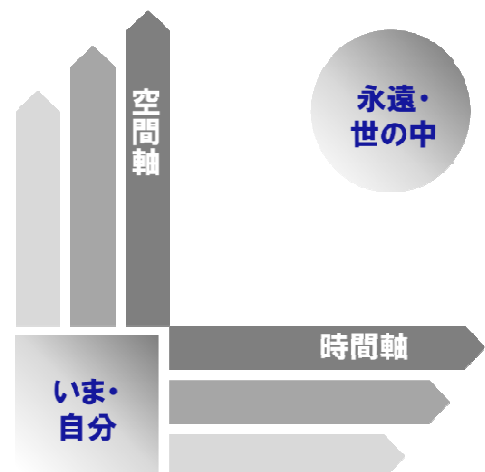


私は長年、瞑想を実践しています。瞑想に限らず、どのような方法であれ、毎日、少しでも静かな心に立ち戻ることを習慣づけることはとても有益です。それによって時空意識の拡大が起こるからです。特に証券市場という激動の場でこそ静寂な心を保つことこそが大切なのです。

お金のことを深く考えると我々みんな「ご縁のネットワーク」の中で生きていることを実感します。一枚 100 円少しのチョコレートも遠いガーナでココナツを取っている人たち、その他、膨大な数の人々の労働の結果、我々の手に届いているのです。

また、投資とは時間をどう使うかということです。言い換えれば、「生き方」です。つまり、お金や投資のことを突き詰めれば「ご縁の中でどう生きるか」ということを学ぶことに通じます。まさに、意識が「自分・今」から、「世の中、未来」へと広がるのです。

私が提唱するしあわせ持ちになるお金の使い方はハッピー・マネー®四分法です。お金を「今、使うお金」、「少し先に使うお金」、「世の中のために使うお金」、そして「ずっと将来のために使うお





長期投資仲間通信「インベストラ이프」

金」に分けて使うという方法です。これもお金を通して意識を「自分・今」から、「世の中・未来」へと拡大してくれるのです。

お金や投資のことを学ぶことは意識の拡大にとっても役立ちます。そして、意識が拡大することが、投資の成功にもつながるという相乗効果があります。短期的な値動きに一喜一憂しない。個別銘柄の値動きに惑わされない。大きな世界経済の流れに任せて何十年かの期間で資産を形成すればいいのです。

世界経済の成長を担っているのは民間企業で、世界中の主要な企業をまとめて保有していれば全体としてその価値は着実に増えていきます。株価は大きな変動を短期的にしていますが、長期的に見れば価値の周辺を変動しているのです。そのためには十分に分散されたファンドを長期で保有するのが良いのです。

言い換えれば資産運用で成功の秘訣である、「分散投資」と「長期投資」も意識の拡大があれば無理なく、迷うことなく実践できるのです。投資のみならず、それは人生全体の成功にもつながります。物心両面で200パーセントの「しあわせ持ち」になれる秘訣は意識の拡大にあります。